

07時代の変化に的確に対応できるまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
1 積極的な情報発信と対話の充実	B	<p>構成する事務事業を見ると、広報紙やホームページなどを活用し積極的な情報発信に努め、また市長へのたよりや懇談を行い市民との対話の充実に努めています。各指標を見ると、市ホームページはリニューアルに伴うカウント方法の変更により目標を下回っていますが、全体的には順調に推移しています。市民満足度調査の結果を見ると、重要度は減少していますが満足度はほぼ横ばいとなっています。</p>	<p>市政に関する情報を市民と共有する開かれたまちづくりを目指し、積極的且つ的確な情報発信の更なる推進を図り、市民の市政への参画意識を高めてまいります。</p>
2 庁舎の整備・行政サービスの充実	B	<p>施設や設備・機器等の経年劣化が進行していることから、改修や修繕・更新等が必要です。現在、本庁では、防災拠点としての機能強化や、より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営を行うため新庁舎建設を進めています。</p>	<p>庁舎の整備やコンビニエンスストアでの各種証明書等の発行サービスを開始したことにより、今後は、わかりやすく、迅速かつ正確な窓口サービスの充実を目指して行きます。</p>
3 地域情報化の推進	B	<p>ウェブアクセシビリティ基準における、ウェブコンテンツ達成等級のAA等級を達成しました。また、各種システム及び機器の安定稼働を、年間を通して実施することができました。</p>	<p>石岡市地域情報化計画に基づき、国・県の計画と整合性を図りながら、システムのクラウド化等、新たな技術動向や社会動向等を調査研究し、時代に即した効率的な行政運営を図るため、業務・システムの最適化を目指します。</p>
4 広域行政の推進	B	<p>効率的で効果的な行政運営を進めるため、周辺自治体と一部事務組合を構成し、広域的な行政サービスに取り組んでいます。また、平成28年3月に市民の利便性の向上と地域間交流を目的に、行方市、小美玉市及び茨城町と「公の施設の広域利用に関する協定書」を締結しました。さらに、平成28年10月1日に三村簡易水道と湖北水道企業団の統合を進めています。</p>	<p>効率的で効果的な行政運営を進めるため、周辺自治体との連携を推進する必要があります。</p>
5 男女共同参画の推進	B	<p>少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化などが進行する中、豊かで活力ある社会の実現を図るためには、女性の社会進出が不可欠であり、男女共同参画の理念が重要となっています。審議会等への女性の積極的な登用や理念啓発のためのセミナーへの参加者の確保などが課題となっております。</p>	<p>第1次男女共同参画基本計画が平成29年度に終了することから、市民の意識変化を把握する調査を実施し、その検証等を行い新たな計画の策定を進めます。</p>

07時代の変化に的確に対応できるまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
6国際交流の推進	B	<p>国際交流団体との連携体制を構築し、市内居住の外国人向け、英語、中国語、韓国語、タイ語、ポルトガル語の5カ国語による、「多言語版くらしの便利帳」を、団体との連携により、内容等の見直しを進めることができました。</p> <p>石岡市国際交流団体連絡協議会：平成26年8月に、国際交流活動を行う市内団体等の相互の情報交換等を目的に発足した協議会です。</p> <p>参加団体：石岡市日本中国友好協会/石岡ライオンズクラブ/石岡ロータリークラブ/グローバルハーツ/フレンドシップいしおか</p>	<p>市と市内国際交流団体が連携し、交流団体の活動を支援するとともに、国際交流への関心を高めていきます。また、異なる文化や考え方をお互いに理解しあい、ともに支えあう多文化共生社会の実現は重要な課題です。</p>
7人材育成の強化	B	<p>石岡市職員人材育成基本方針に基づき、毎年度、職員研修実施計画を作成し、職務遂行に必要な知識、技能等の修得を目的とした研修を実施しています。また、職員の健康管理については、健康診断後の健康指導が必要な職員へのフォローアップやメンタルヘルス対策を実施しています。</p>	<p>今後とも基本的な研修だけでなく、専門的及び実践的な研修に力を入れ、職員に必要なとされる能力育成するため様々な研修を実施します。</p>
8行財政改革の推進	B	<p>行財政改革実施計画に取り組み、公共サービスを提供するために必要となる、人財・財産・財源・情報の行政資産を強化しております。平成27年度は44の実施項目中25の実施項目について、取り組みを実施しました。</p>	<p>行財政改革大綱に基づき策定している実施計画の有効性を維持するため、個々の実施項目について毎年度ローリング（見直し）を行い、各実施項目の進捗状況に応じて内容の修正及び追加を行っていきます。</p>

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	01 積極的な情報発信と対話の充実
具体的取り組み例	戦略的・効果的な情報発信および市民との対話の充実

1 総括評価

B	評価コメント
	構成する事務事業を見ると、広報紙やホームページなどを活用し積極的な情報発信に努め、また市長へのたよりや懇談を行い市民との対話の充実に努めています。各指標を見ると、市ホームページはリニューアルに伴うカウント方法の変更により目標を下回っていますが、全体的には順調に推移しています。市民満足度調査の結果を見ると、重要度は減少していますが満足度はほぼ横ばいとなっています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	市政に関する情報を市民と共有する開かれたまちづくりを目指し、積極的且つ的確な情報発信の更なる推進を図り、市民の市政への参画意識を高めてまいります。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
広報活動経費【秘書広聴課】	広報紙においては、掲載内容を精査し、簡潔にまとめるとともに、見やすく分かりやすいレイアウトにするなど、引き続き工夫していきます。また、市ホームページにおいては、即時性・双方向性などの特性を生かし、より積極的な情報発信をしていきます。
市民相談経費【秘書広聴課】	広報活動と連携することで、意見・要望・苦情については、多くの市民の意向を把握することができました。しかし、回答期限が守られていないのが現実です。回答の遅れが苦情になることを避け、回答の迅速化を図り、庁内でも情報共有が図られるようにします。
議員活動運営経費【庶務議事課】	今年度は、成果指標であるホームページアクセス件数が目標値を上回るとともに、傍聴者数も増加しました。また、議会報告会に向けた協議・検討が進められました。今後は、議会報告会開催のサポート等、さらなる情報発信に向けた取組を行っていきます。

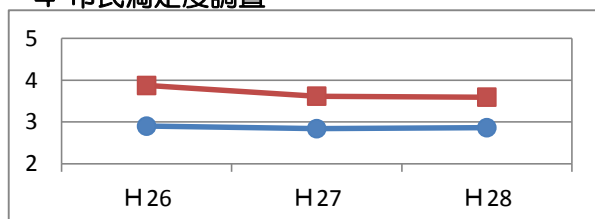
※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
ホームページアクセス件数	市ホームページへのアクセス件数	件	304,323 (H22)	450,000	244,759※
ホームページアクセス件数	議会ホームページへのアクセス件数	件	20,506 (H22)	24,000	30,820
市民からの市政への提案数	「市長へのたより」における提案型の内容の割合	%	15 (H24)	30	40
年間の市例規集の更新回数	例規集を随時更新し、最新の例規情報を市民に公表します。	回	10 (H24)	12	10

※一定時間内の同一パソコンからのアクセスは何度アクセスしても1件とする計測方法により算出しています。

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.90	3.87
平成27年度調査	2.84	3.62
平成28年度調査	2.86	3.59

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	02庁舎の整備・行政サービスの充実
具体的取り組み例	住民票等自動交付機の運用や窓口延長サービス，防災機能を備えた使いやすい新庁舎整備

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	施設や設備・機器等の経年劣化が進行していることから，改修や修繕・更新等が必要です。現在，本庁では，防災拠点としての機能強化や，より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営を行うため新庁舎建設を進めています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	庁舎の整備やコンビニエンスストアでの各種証明書等の発行サービスを開始したことにより，今後は，わかりやすく，迅速かつ正確な窓口サービスの充実を目指して行きます。

2 主要事業の概要

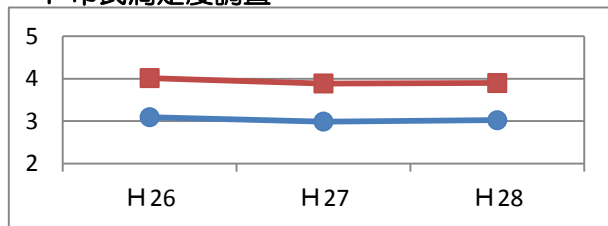
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
自動交付機運用経費【情報政策課】	コンビニ証明書発行取扱店の拡大状況や番号制度導入等国の動向も踏まえ，利用者の利便性向上を可能とするシステムの維持管理及び構築検討を行っていきます。
新庁舎建設事業【管財課】	新庁舎建設の進捗状況など，適切な時期に広報等を行い，市民の理解を得ながら早期の完成を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
自動交付機の利用率の向上	いしおか市民カード，住民基本台帳カードの保有率	%	48.0 (H23)	60	51.8
【参考指標】					
コンビニエンスストアでの交付利用率の向上	マイナンバーカードの交付枚数	枚	0	20,000	725

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.09	4.01
平成27年度調査	2.99	3.89
平成28年度調査	3.02	3.90

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	03地域情報化の推進
具体的取り組み例	情報システム基盤の最適化やセキュリティ強化、公共施設予約システムの構築

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	ウェブアクセシビリティ基準における、ウェブコンテンツ達成等級のA等級を達成しました。 また、各種システム及び機器の安定稼働を、年間を通して実施することができました。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	石岡市地域情報化計画に基づき、国・県の計画と整合性を図りながら、システムのクラウド化等、新たな技術動向や社会動向等を調査研究し、時代に即した効率的な行政運営を図るため、業務・システムの最適化を目指します。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
電算業務経費【情報政策課】	基幹系システムの安定運用を行うことにより、継続した住民サービスを可能とすると共に、クラウドコンピューティング等新たな技術動向を踏まえながら、より信頼性のある安全で効率的なシステム構築を行ってまいります。

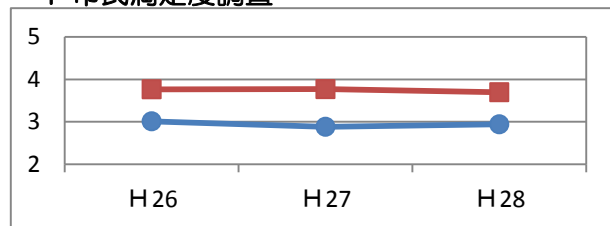
※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
ウェブアクセシビリティ達成基準	ウェブコンテンツ「JIS X 8341-3:2010に準拠」の達成等級	等級	A (H24)	AA	AA
各種システム・機器の安定稼働	各種システム及び機器の安定稼働を継続します。	日	365 (H22)	365	358※

※7日間の差については、庁舎電気設備点検等による未稼働日です。

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.01	3.77
平成27年度調査	2.88	3.77
平成28年度調査	2.94	3.70

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	04広域行政の推進
具体的取り組み例	周辺自治体との連携強化，広域事務処理の見直し

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	効率的で効果的な行政運営を進めるため，周辺自治体と一部事務組合を構成し，広域的な行政サービスに取り組んでいます。また，平成28年3月に市民の利便性の向上と地域間交流を目的に，行方市，小美玉市及び茨城町と「公の施設の広域利用に関する協定書」を締結しました。さらに，平成28年10月1日に三村簡易水道と湖北水道企業団の統合を進めています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	効率的で効果的な行政運営を進めるため，周辺自治体との連携を推進する必要があります。

2 主要事業の概要

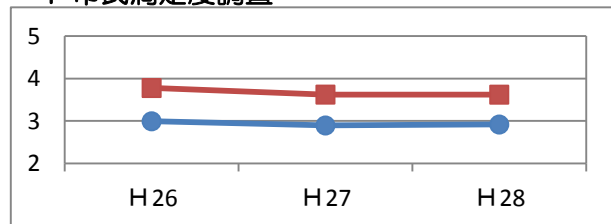
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
諸協会等関係経費【秘書広聴課】	各種協議会等を通じての情報収集や他自治体との交流，より有効な取り組みの要請など，組織加入によるメリットを市民生活に反映できるように努めます。
石岡地方斎場組合負担金【生活環境課】	「石岡地方斎場」運営管理のための構成市町村負担金，適正な管理運営により利用者の満足度向上に努めます。
広域行政の推進【政策企画課】	単独市では，課題に対応，処理することが困難な事案もあり，周辺自治体との連携強化による広域行政の充実が必要です。平成28年10月より「つくば地域広域連携研究会」で，現状や課題から連携可能な事業を見出すため，意見交換や調査を実施する予定です。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
定住自立圏構想勉強会等の開催	定住自立圏構想勉強会等の開催回数	回	¹ (H22)	1	0
市民一人当たりのサービス負担額	一部事務組合（ごみ，し尿，斎場）等の負担金÷人口	円／年	12,014 (H22)	10,800	10,722

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.99	3.78
平成27年度調査	2.89	3.62
平成28年度調査	2.91	3.62

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	05男女共同参画の推進
具体的取り組み例	女性のための困りごと相談の実施，男女共同参画セミナーの開催

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化などが進行する中，豊かで活力ある社会の実現を図るためには，女性の社会進出が不可欠であり，男女共同参画の理念が重要となっています。審議会等への女性の積極的な登用や理念啓発のためのセミナーへの参加者の確保などが課題となっております。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>第1次男女共同参画基本計画が平成29年度に終了することから，市民の意識変化を把握する調査を実施し，その検証等を行い新たな計画の策定を進めます。</p>

2 主要事業の概要

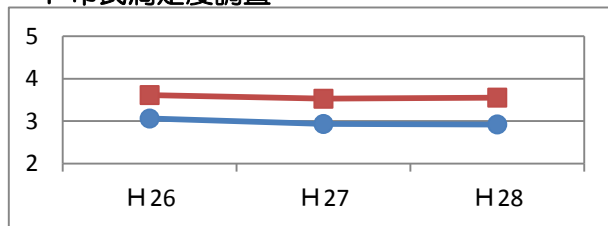
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
男女共同参画推進事業【政策企画課】	市民を対象とした普及啓発活動や女性のための困りごと相談などを実施しています。次期計画策定に向け，検証等を行い新たな計画を策定します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
審議会等委員の女性の登用率	市の審議会等における女性委員の割合	%	13 (H22)	30	24

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.06	3.61
平成27年度調査	2.93	3.53
平成28年度調査	2.92	3.55

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	06国際交流の推進
具体的取り組み例	国際交流活動を行う団体への事業支援，多言語版くらしの便利帳作成

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	<p>国際交流団体との連携体制を構築し，市内居住の外国人向け，英語，中国語，韓国語，タイ語，ポルトガル語の5カ国語による，「多言語版くらしの便利帳」を，団体との連携により，内容等の見直しを進めることができました。</p> <p>石岡市国際交流団体連絡協議会：平成26年8月に，国際交流活動を行う市内団体等の相互の情報交換等を目的に発足した協議会です。</p> <p>参加団体：石岡市日本中国友好協会/石岡ライオンズクラブ/石岡ロータリークラブ/グローバルハーツ/フレンドシップいしおか</p>
<p>A 順調</p> <p>B 概ね順調</p> <p>C 改善が必要</p> <p>D 見直しが必要</p>	今後の方向性
	<p>市と市内国際交流団体が連携し，交流団体の活動を支援するとともに，国際交流への関心を高めていきます。また，異なる文化や考え方をお互いに理解しあい，ともに支えあう多文化共生社会の実現は重要な課題です。</p>

2 主要事業の概要

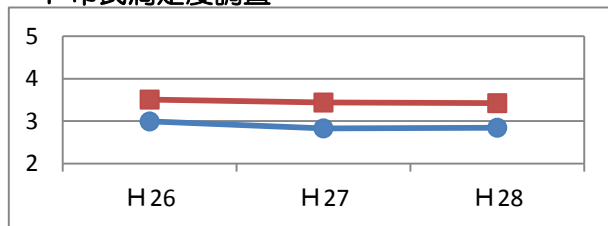
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国際交流事業【政策企画課】	市，国際交流団体が役割分担し，市と市内国際交流団体が連携し，国際交流への関心を高めていく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
国際交流活動参加者数	「国際交流のつどい」来場者数	人	1,000(H22)	1,000	2,130

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.99	3.51
平成27年度調査	2.83	3.44
平成28年度調査	2.84	3.42

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	07人材育成の強化
具体的取り組み例	各種研修の実施による職員の能力向上

1 総括評価

B	評価コメント
	石岡市職員人材育成基本方針に基づき、毎年度、職員研修実施計画を作成し、職務遂行に必要な知識、技能等の修得を目的とした研修を実施しています。また、職員の健康管理については、健康診断後の健康指導が必要な職員へのフォローアップやメンタルヘルス対策を実施しています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	今後とも基本的な研修だけでなく、専門的及び実践的な研修に力を入れ、職員に必要とされる能力育成するため様々な研修を実施します。

2 主要事業の概要

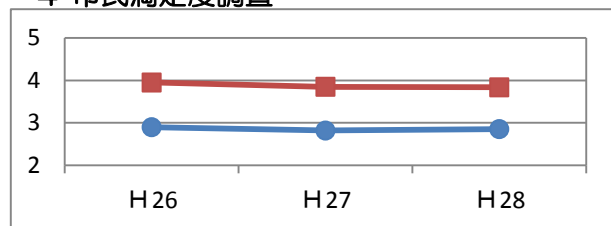
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
職員研修経費【総務課】	研修アンケートで「だいたい理解できた」まで含めると約94%に達することから一定の成果が表れています。平成28年度より研修の効果を高めるために研修復命書とあわせて、研修をどのように活用したいか目標設定を立ててもらったり研修後のフォローアップアンケートを行うことで、研修内容を日頃の業務に活かす取組を行います。
職員福利厚生費【総務課】	職員の健診受診率の100%を目標とする一方で、要精密検査の該当職員や健康指導が必要な職員へのフォロー体制の充実やメンタルヘルス対策を強化していく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
各種研修の受講者数	真に求められている研修を開催し、学ぶ機会を拡大します。	人	1,175 (H22)	1,350	1,163

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.90	3.95
平成27年度調査	2.82	3.85
平成28年度調査	2.85	3.84

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	08行財政改革の推進
具体的取り組み例	行財政改革大綱に基づく効率的な行政運営

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	行財政改革実施計画に取り組み、公共サービスを提供するために必要となる、人財・財産・財源・情報の行政資産を強化しております。平成27年度は44の実施項目中25の実施項目について、取り組みを実施しました。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	行財政改革大綱に基づき策定している実施計画の有効性を維持するため、個々の実施項目について毎年度ローリング（見直し）を行い、各実施項目の進捗状況に応じて内容の修正及び追加を行っていきます。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
行財政改革推進事業【行革推進課】	第2次石岡市行財政改革大綱に基づく実施計画を策定しました。大綱では、「行政資産の強化とサービスの適正化」をテーマに掲げ、4の取組方針、11の取組項目で規定したツリー構造としています。実施計画では、大綱の取組項目を細分化した実施項目を設定し着実に執行するなど、行財政改革を推進していきます。また、実施項目等を毎年見直すとともに、市民の方や行財政改革推進委員会の意見を聴きながら、大綱の進捗管理を行います。

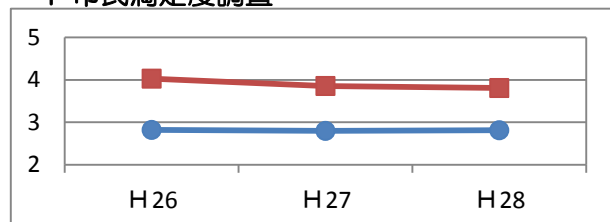
※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値※	H27 (実績値)
石岡市行財政改革実施計画の実施項目	実施項目のうち取組実施数	項目	—	44	25

※目標値は、石岡市行財政改革実施計画期間の最終年度（平成33年度）までに取り組むべき実施項目数を挙げており、毎年度、進捗状況等に応じて内容の修正及び追加を行います。また、実施項目によっては、実施までに調査・検討を要する項目があります。

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.82	4.03
平成27年度調査	2.80	3.86
平成28年度調査	2.81	3.81